

紙面で巡る
この施設、この一品

江戸期の4本地域の宝

岡山市東区西大寺地域の歴史や文化に関する資料を一堂に集めた「西大寺文化資料館」(同市東区西大寺中)の一角。棚に並ぶ木箱の中に、円筒形の木の棒が1本ずつ収められている。

西大寺観音院(同所)を舞台に500年余り続く西大寺会陽で投下され、まわし姿の男衆が奪い合った宝木だ。獲得した「福男」は長寿や財運、健康など五つの福を授かるとされる。

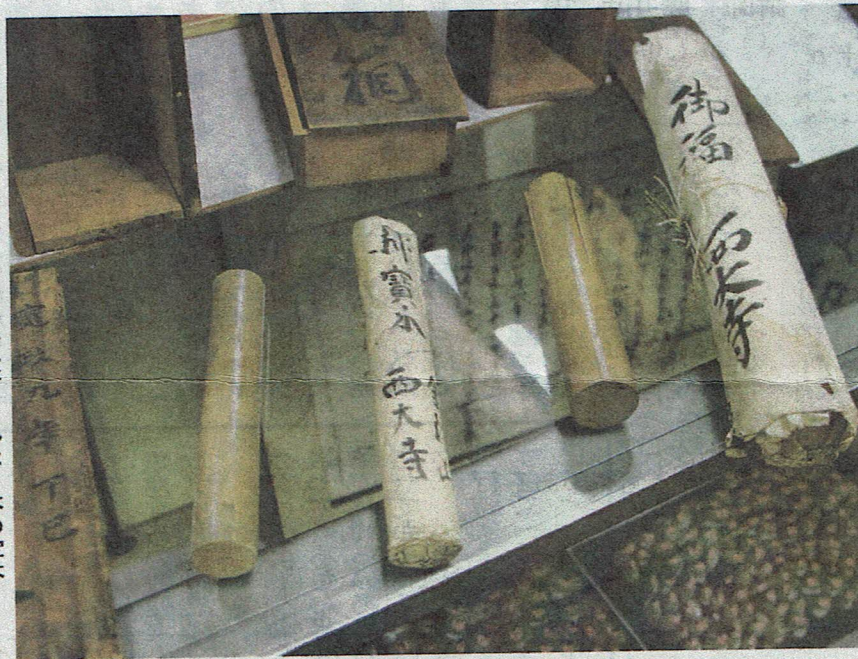
資料館には江戸時代から昭和30年代までの16本を収蔵。

宝木

岡山市東区西大寺中、西大寺文化資料館



⑭



江戸時代の西大寺会陽で投下された4本の宝木

古びた箱には年月日などが墨で記されている。会陽を主催する奉賛会などによると、企業といった祝い主や個人から

古びた箱には年月日などが墨で記されている。会陽を主催する奉賛会などによると、企業といった祝い主や個人から

古びた箱には年月日などが墨で記されている。会陽を主催する奉賛会などによると、企業といった祝い主や個人から

古びた箱には年月日などが墨で記されている。会陽を主催する奉賛会などによると、企業といった祝い主や個人から



西大寺会陽のほか、他の寺院で行われた会陽の宝木も並ぶ館内

明治時代に建てられた天満屋創業家・伊原木家日本宅の衣装蔵(木造2階)を使い、約2000点を収蔵。西大寺愛郷会が運営する。開館は毎週日曜の午前10時～午後4時。入館料は小中学生50円、高校生以上100円。近くの中国銀行西大寺支店の駐車場を利用する。090-7372-0903。

メモ
今年(平田亜沙美)は新型コロナウイルス対策で初めて宝木争奪戦が行われなかったが、山本館長は「名の通り地域の宝。伝統ある祭りの歴史に思いを込めてほしい」と話す。
= 随時掲載